



## 家具試験のご案内



当所では家具の製品試験を行っています。JIS に準じた試験や、お客様のニーズに合わせた試験を行うことができます。

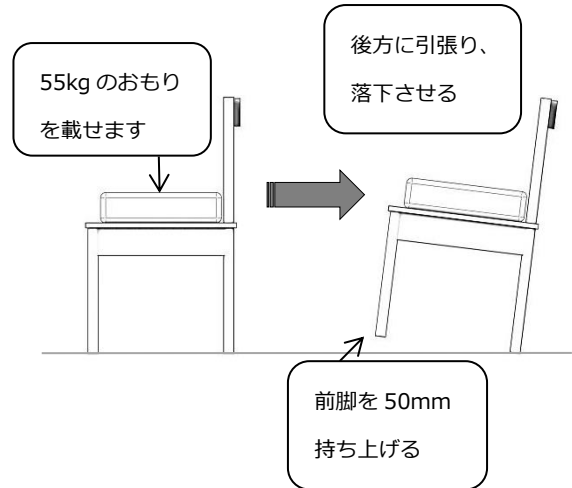
### お問い合わせの多い試験

#### ●いすの繰返し衝撃試験 (JIS S 1062 (旧規格))

座面に 55 kgのおもり載せ、背もたれ部を後方に引っ張り、前脚の脚端を床面より 50 mm引き上げ、手を放すように落下させます。この操作を 4000 回繰り返し、いすに異常がないか調べます。

非常に過酷な試験であるため、丈夫に作っておかないと、簡単に壊れてしまいます。現在は廃止されている旧規格ですが、ご要望は今でもあります。

手数料：8,100 円～



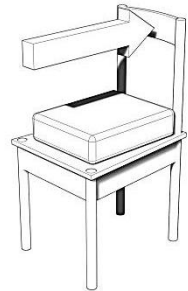
#### ●いすの繰返し耐久性試験・背もたれの静的強度試験 (JIS S 1203)

座面に釣り合わせのためのおもりをのせ、背もたれ部に所定の荷重を繰返しかけます。前脚にはあまり負荷がかかりません。

例：試験区分 3 の時の条件

	座面への荷重	背もたれへの荷重	繰返し回数
背もたれの静的強度試験	1300 N	560 N	10
背もたれの耐久性試験	950 N	330 N	50000

10N≒1kgf



手数料：3,348 円～

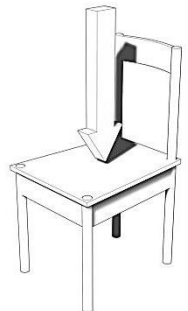
#### ●垂直荷重下の強度試験 (JIS S 1203)

座面の静的強度試験や耐久性試験を行います。座面に所定の荷重を繰返しかけます。背もたれには負荷がかかりません。

例：試験区分 3 の時の条件

	座面への荷重	背もたれへの荷重	繰返し回数
座面の静的強度試験	1300 N	-	10
座面の耐久性試験	950 N	-	50000

10N≒1kgf



手数料：3,348 円～

## ●いすに関するその他の試験（JIS S 1203）

ひじ部の試験や脚部の試験を行うことができます。気になる部分を試験することで、安全性の確認や品質管理に役立ちます。

手数料：3,348 円～

## ●破壊試験

木材が破壊するときの荷重を調べます。最大で 50kN（5 トン）まで測定することができます。JIS Z 2101 木材の試験方法に準じた試験を行います。

例えば、スツールの座面の破壊荷重を調べたいときに使用します。破壊荷重がわかると、安全率（3～）で割って、耐荷重を算出することができます。

他にも、ダボやホゾの引き抜き強度を調べたり、ダボ穴とダボ径の違いによる強度差を調べたりすることができます。

手数料：2,700 円～



壊れるまで荷重を  
かけてみる



## ●木材加工

NC ルータを使った加工ができます。ご相談いただければ、図面等が無くても対応いたします。NC プログラムや治具は当所で作成いたします。量産はできませんが、試作程度にご利用ください。

手数料：5,292 円～

## その他の試験

### ●大型の試験機を用いた破壊試験

テーブル等の大型の家具で破壊試験を行うことができます。

### ●ホルムアルデヒド放散量試験

塗料や接着剤に含まれるホルムアルデヒドの放散量を測定します。

## 担当（中島）の略歴

1970 年生まれ

1998 年 東京農工大学大学院卒業

1998 年 神奈川県に就職 工芸技術所勤務（小田原市）

2005 年 県産業技術センター兼務

2017 年 （地独）神奈川県立産業技術総合研究所に異動



## 連絡先

地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 情報・生産技術部 試作加工グループ 中島岳彦  
電話 046-236-1500 メール tnakaji@kanagawa-iri.jp